

GSXの標的型メール訓練サービスを実施した 電源開発株式会社の導入事例がリリースされました

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区西新橋1-2-9、代表取締役社長：松本 松仁、<http://www.gsx.co.jp>）は、電源開発株式会社（本社：東京都中央区銀座六丁目15番1号、代表取締役社長：北村 雅良、<http://www.jpower.co.jp>）様が実施したGSXが提供する標的型メール訓練サービスの導入事例をリリースします。

◆導入事例掲載内容



リスクが顕在化しつつある標的型メールへの対策を、実施効果が見える形で訓練できたことが、非常に意義あるものでした。

「抜き打ちテスト」方式でのメール訓練はそもそも想定しておらず、しっかりと社内へ根回しをした上で訓練を実施しているの、「事前周知したことが確実に実施できるかどうか」というポイントを推し量るには最適な訓練手法でした。

～電源開発株式会社 総務部 IT推進室 統括マネージャー（IT技術） 中嶋 嘉昭氏

これまで当社では合計3回の訓練を実施しましたが、確実に開封率が上がっており、訓練や開封の効果が表れていることを実感しています。このように、リスクが顕在化しつつある標的型メールへの対策を、実施効果が見える形で訓練できたことは非常に意義のあるものでした。

現状お気づきの点はございますか？

繰り返しとなりますが、標的型メール攻撃の対策としては「社員への教育啓蒙」と「技術的対策」の両方が必要だと認識しております。後者については、特に出口対策に力を入れていく予定です。また、標的型メール攻撃対策ではありませんが、最近流行の失窃のあるWeb改ざん対策（自社のサイトを閲覧したユーザー様にWebサイトを配布するようなことがないようなWebサイト管理）を徹底する必要があると考えており、情報セキュリティ対策は多面的に行わねばならないと痛感しております。

改善リクエストなどはございますか？

現状、固定ドメインで訓練メールを送信してもらうのですが、それを当社のドメインで送信する（社員になりましたメールを扱う）ことで、より現実味のある標的型メール訓練となるのではないかと考えています。この他、Web編集などを実施できるかと感じています。

*返信元偽装は実施できません

電源開発株式会社は、創立以来60年以上にわたり「開港事業者」として、低廉かつ安定した電力を全国に供給し、我が国の経済発展と国民生活の向上に貢献して参りました。（2004年10月には東京証券取引所市場第一部に上場し、完全民営化を果たしました。）

これまでに当社が国内に建設し運転している発電所は、水力発電所や石炭火力発電所を中心に、2013年3月末現在で全国66ヶ所、出力総額約1700万kWのべりです。また、海外では途上国を中心に水力及び火力発電所の建設に伴う調査・設計・施工監理や環境対策等のコンサルティング事業を実施して参りました。近年では、自ら海外発電事業（IPP事業）を行なうなど、多様な国際事業を展開しております。

このような形で、当社は企業理念である「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」ことの実現に向けて全力で取り組んでおります。

具体的には社内にはどのような課題がございましたか？

IT推進室では、不正アクセスの増加傾向や、標的型メール攻撃の流行、IT業界内での様々な情報交換（経営情報や実態情報）を通じて、警戒感を高めておりましたが、当社の一般的な社員は、標的型メール攻撃というものを知らない人が大部分でした。

標的型メールへの対応には必要であるとの認識を一致し、技術的な対策と、社員への教育啓蒙の両面から対策を行うとの方針を打ち出したものの、特に後者の「社員への教育啓蒙」については、そもそも標的型メール攻撃を認識していない一般社員に対して、短期間で最も効果的な方法とは何か、という点で検討に苦慮しておりました。

どのような解決策を検討されましたか？

まず最初に、情報セキュリティ用のeラーニングでの教育啓蒙を考えたのですが、年1回のeラーニングだけでは、その効果に自信がありませんでした。そのような中で、当時、情報セキュリティ対策についてご提案を頂いていたGSXから「標的型攻撃に対する3つのポイント」という標的型攻撃対策全般におけるソリューションが記載されたブローチャーを頂きました。

詳しくお話を聞いてみると、「標的型メール訓練」について、大規模顧客の実績もあり、訓練効果が測定できると、検討から実施まで比較的短期間で準備できること等の点について御説明頂き、「これはいいのではないか」という感触を得ました。

また、同社の標的型メール訓練サービスの開発思想を伺った際に、当社の考え方と一致していることも評価ポイントとなりました。

■GSXによる標的型メール訓練の実施

当社の他に他社サービスを検討されましたか？

可及的速やかな訓練実施を希望していましたが、複数社で比較検討させて頂きました。結果、GSXが最もコストパフォーマンスが良く、最も提案力が高かったと認識しております。

当社サービスのポイントはどのようなところですか？またGSXによる実施をご決断されたポイントをお教え下さい

真摯なご対応、訓練結果を速報ベースで頂ける点、報告会での説明が判りやすい等が、非常に秀でていると考えています。

■標的型メール訓練サービスの効果・効用

実際の効果・効用をお教えください

「抜き打ちテスト」方式でのメール訓練は、当社は想定しておらず、しっかりと社内への根回しをした上で訓練を実施しました。即ち、「事前周知したことが確実に実施できるかどうか」という点を推し量ることに重きを置いた訓練でした。

おかげさまで、訓練実施中はトラブルもなく、当初多少はあるかもしれない想定していた社員からの問い合わせやクレーム等もほとんどありませんでした。

ちなみに、訓練メールは「添付ファイル形式」と「URL形式」の2つの形式で実施しましたが、それぞれの開封結果も異なることから、実施に即した効果測定ができました。また報告書では、部署毎の開封率や返信率なども詳細にグラフ化して頂きました。

■グループ会社を含む報告会の模様



導入サービス	サービス概要
標的型メール訓練サービス	標的型攻撃メールを模擬・模倣した、実際には無害の訓練メールをユーザ（一般社員）に送信します。訓練メールに含まれる添付ファイルやURLリンクをクリックして開いたユーザは、何時何分にそれを開いたかというアクセスログが記録されるとともに、標的型攻撃メールの危険性や対策・対応方法を説明した教育コンテンツに誘導され、適切なセキュリティ教育を実施することができます。

お問い合わせ
グローバルセキュリティエキスパート株式会社 〒105-0003 東京都港区西新橋1-2-9 日谷セントラルビル21F
TEL: 03-3507-1360 FAX: 03-3507-1361
<http://www.gsx.co.jp>

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

電源開発株式会社様「標的型メール訓練サービス」導入事例：

<http://www.gsx.co.jp/casestudy/jpower.html>

◆電源開発株式会社様をお招きした「導入事例セミナー」について

この度、電源開発株式会社（J-POWER）様をお招きして、標的型メール訓練サービスの導入事例ご紹介セミナーを2014/5/14（水）行います。同社実担当者による検討背景や実際に受信した標的型メールへの対抗策、訓練実施模様、事前準備や社内通知、実施結果など事例に留まらない詳細なご紹介をします。

～電源開発様[J-POWER]導入事例ご紹介&標的型メール攻撃デモ～
サイバー攻撃者側視点とお客様の声から学ぶ標的型攻撃対策セミナー

日 程：2014年5月14日（水）

時 間：14:00～17:00（受付開始 13:30～）

定 員：100名（事前予約制）

費 用：無料

セミナー案内状：<http://www.gsx.co.jp/seminar/PDF/0514seminar.pdf>

主 催：フォーティネットジャパン株式会社

グローバルセキュリティエキスパート株式会社

会 場：御茶ノ水 ソラシティカンファレンスセンター Room C

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6

TEL：03-6206-4855 FAX：03-6206-4854

<http://solacity.jp/cc/access/>

◆気になるセミナープログラムとお申込みはWebから！◆ —————

http://www.gsx.co.jp/seminar/seminar_140514.html

◆GSXの提供する「標的型メール訓練サービス」とは

標的型攻撃メールを模擬・模倣した、実際には無害の訓練メールをユーザ（一般社員）に送信します。訓練メールに含まれる添付ファイルやURLリンクを誤って開いたユーザは、何時何分にそれを開いたかというアクセスログが記録されるとともに、標的型攻撃メールの危険性や対策・対応方法を説明した教育コンテンツに誘導され、適切なセキュリティ教育を実施することができます。



◆導入実績について（一部抜粋）

契約先	規模	備考
金融機関 A	1,000 名	インシデント耐性評価のため実施
製造業 B	50,000 名	実施後、グループ会社各社へ波及
製造業 C	5,000 名	グループ会社 120 社で同時実施
製造業 D	500 名	技術情報部門及び役職者に対して実施
サービス業 E	2,000 名	全社員に対しセキュリティ強化月間の中で実施
通信業 F	500 名	全社展開パイロットとして、事業部門を選択して実施
官公庁 G	1,000 名	情報セキュリティ監査業務の一部として実施
大手インフラ系企業 H	2,500 名	初回実施後、3 ヶ月後に 2 回目実施

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社
 本社 : 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-2-9 日比谷セントラルビル 21F
 代表者 : 代表取締役社長 松本 松仁
 資本金 : 2億7,000 万円
 コーポレートサイト : <http://www.gsx.co.jp/>
 標的型メール訓練サービス : <http://www.gsx.co.jp/service/attackmailtraining.html>

事業内容 :

国内初の情報セキュリティ専門コンサルティング会社として2000年に設立され、セキュリティ診断、セキュリティポリシーの導入、リスクマネジメント、システム実装、監視サービスにいたる広範な情報セキュリティサービスを提供しています。

情報セキュリティポリシーの国際標準基準となった英国規格協会(BSI)のBS7799(現ISO27000)を日本に初めて紹介し、高品質な情報セキュリティコンサルテーションを行っています。

さらに、高い技術を有し、システムの脆弱性の発見のために侵入検査などさまざまな診断を行う「タイガーチームサービス(TIGER TEAM SERVICE)」や標的型メール訓練サービスを始めとする新しい脅威に対抗するソリューションをご提案する「アドバンスドテクノロジーサービス」を組織しております。

【本件に関するお問い合わせ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 事業開発部 マーケティング担当
 TEL : 03-3507-1360 (代) E-mail : mktg@gsx.co.jp